

今後のご案内

カーボンニュートラルビジネスを本気で事業化を検討したい方向け

■ 開催スケジュール（11月より全4回開催：ワークショップ3回、発表会1回）

① 11月9日（水） ② 12月7日（水） ③ 1月18日（水） + ④ 2月8日（水） 発表会

	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
年間スケジュール		← セミナー →		← 事業案募集 →	← 事業企画化支援 →				← 成果発表 →
								企業内 プレゼン	
事業化の支援					企業が作成した事業案への助言				
					事業案作成メソッドの提供				

※応募多数の場合は選定

今後のご案内

内容

専門家から、ターゲット・提供価値・提供方法・競合優位性等を学んだり、助言を受けながら、事業案を検討していく。

→インプットとアウトプットを繰り返し、事業化を目指す

場所：静岡市コ・クリエーションスペースCOCODE



静岡市葵区御幸町 3-2 1
産学交流センター内大会議室
ペガサートビル 7階

今後のご案内

支援者の紹介



株式会社ライズ・コンサルティング・グループ
丹治 三則 博士（工学）

■ 経歴

2007年 大阪大学大学院工学研究科環境・エネルギー工学専攻 修了
2010年 慶應義塾大学環境情報学部 専任講師
2017年 研究機関、事業企画系ファームを経て
株式会社ライズ・コンサルティング・グループへ参画

電力、水道、鉄道、スマートシティ等主にインフラ領域で調査、事業
企画の経験を持つ

静岡市環境局環境創造課

グリーン政策推進室

副主幹 和田昌之

平成17年4月静岡市役所入庁

福祉部門に配属され、生活保護業務を担当。平成19年度には厚生労働省に出向。

その後、観光交流文化局で外国人観光客の誘致、経済局で農業政策におけるお茶の振興に関する業務を担当し、令和3年度から現職。

静岡市地球温暖化対策実行計画の策定・管理や、2050年温室効果ガス排出実質ゼロに向けた取組みの推進を担当。新たな分野で日々学習しながら業務にあたる。

日本茶インストラクターの資格を取得し、日本茶インストラクター協会静岡県支部に所属し、お茶の魅力発信にも努める。

趣味は学生時代から続けているバスケットボールのほか、ランニングや自転車など。

2. 目指すゴール 「静岡市の中山間地域は、SDGsの聖地だ」



木質バイオマス × 脱炭素 × SDGs

木質バイオマスボイラー導入想定施設
やませみの湯(写真)
和田島自然の家



- 1 地域資源の継続した活用**
燃料は、両河内地区で産出される竹・竹チップを燃焼できる木質バイオマスボイラーを導入
安定供給体制を整えることで**放置竹林対策**に！
木質チップも燃焼可能なため、こちらも安定供給体制を構築することで**森林整備対策**に！
- 2 木質バイオマスで脱炭素化**
化石燃料から木質バイオマス燃料への転換で、
やませみの湯・和田島自然の家を**ゼロカーボン**に！
- 3 太陽発電電とのハイブリッド化**
施設屋根や近隣空きスペースに太陽発電電を導入
電気&熱の、磐石の再エネハイブリッド体制構築
- 4 レジリエンス強化**
有事の際も問題無し？
電気&熱で地域の強固な**レジリエンス**施設構築

Copyright 2021 RISE Consulting Group Inc.

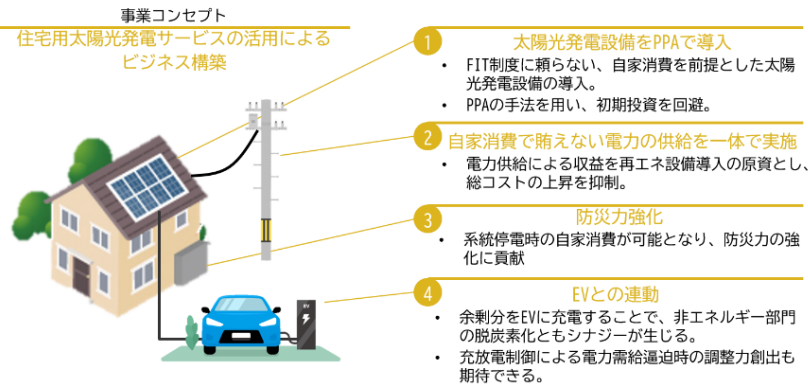
2. 事業で目指すゴール

(2)静岡発！法人向けEV MaaSを起点に、環境・交通・経済をより効率的に！より優しに！



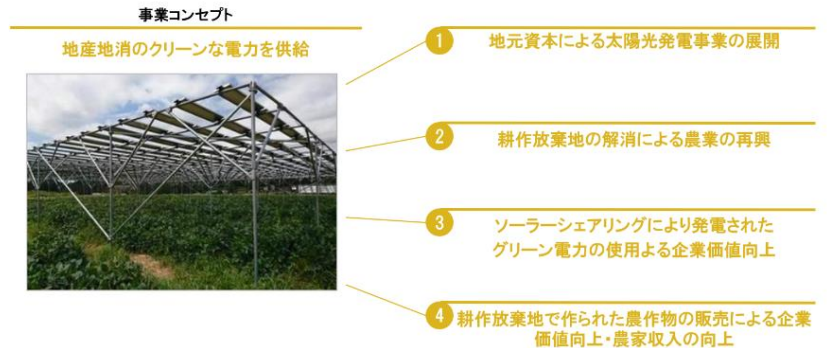
2. 目指すゴール

市内個人宅への再エネ設備の最大限の導入による脱炭素化推進



2. 目指すゴール/耕作放棄地の解消と地産電源の確保

・耕作放棄地を活用したソーラーシェアリングの展開



本日のワークショップ

排出業態 事業 タイトル 経緯・ 目的 事業概要	エネルギー / 産業 / 運輸 / 民生・家庭 / 民生・業務 / 廃棄物処理
	【経緯】 【目的】
	ビジネスモデル、CO2排出削減効果、市場/顧客ニーズの規模などを意識してご記載ください。また、静岡市や地域内事業者や住民と連携できるポイントがある場合はご記載ください。

次プログラムに参加を希望しますか？

します・しません・検討します

本日のワークショップ（参考）

排出業態
事業
タイトル
経緯・
目的

エネルギー / 産業 / 運輸 / 民生・家庭 / 民生・業務 / 廃棄物処理

Jクレジット(木材吸収・成長部門)を活用した、人工林の再生(エネルギー集約度低下)

脱炭素実現には、排出量を減らすあるいは吸収量を増やす2択があると考える。
森林は、CO₂吸収の代表格。市の7割以上森林が占める一方、放置(未利用)されている現状がある。
①木材の流通増に伴う老齢化した森林の代謝促進(新たな森林による吸収量増加)
②木材に吸収されたCO₂排出の抑制
③クレジット売買に伴う収益増を目指す。
また副次的に、花粉症対策、地盤の強化、ウッドショックへの耐性(国内消費)を期待。

事業概要

【利用面】 オクシズ材活用に対するインセンティブの増加
→木材を使わない最大の理由であるコストを、行政が補助。
森林所有者、生産・製材業者、製造業、使用者にメリットのある方法を検討。 住宅・事務所・工場等
使用先は問わない。

【吸収・排出削減クレジットの創出】
・使用量に伴う植林を条件として森林再生を促し、吸収クレジットを創出する。
・木質バイオマスによる削減クレジット、廃材燃焼にはインセンティブを与え廃材利用を促す

次プログラムに参加を希望しますか？

します・しません・検討します

今後のご案内

応募方法

参加費無料



左記QRコード、もしくは、本施設（静岡市コ・クリエーションスペース）HPより
Googleフォームの申込みフォームにご回答ください。

回答内容は、基本情報（会社・氏名など）及びカーボンニュートラルのビジネス
アイデアとなります。

静岡市環境創造課の補助金の対象事業となるかもしれません...！
ぜひ、事業化を検討している皆様、ご応募ください。

【期日】 2022年10月14日（金）迄

※応募者多数の場合は選定させていただきます。10月28日（金）頃にメールにて結果発表いたします。